

林尹夫 はしがしは戦没学徒。大正十一年神奈川県生まれ、昭和二十年七月二十
 十八日没（一九三二―四五）。第二高等學校を経て、昭和十七年京都帝國大
 學文學部史學科入學。翌年十二月学徒召集、第十四期飛行豫備學生と
 して上浦航空隊、大井航空隊所屬。二十年三月海軍少尉任官、七月夜
 間偵察飛行中、回國沖でアメリカ海軍夜間戦闘機と遭遇後、消息を絶
 つた。

ニ高時代、トーマス・マンに傾倒して書いた「ゴッブツデンブロオケー
 家」について「を讀んだ擔任教官深瀬基寛は、へ理解の明晰と表現の
 適確さが實に快よい。敬意を表す」と涼稿に書き添へ、更に後年の自
 著「人はみな草のどっこく」（昭和二十四年五月二十五日養徳社）にも
 「恐ろしく優秀な生徒で、いまどう生きこなたら恐ろしく、逆ぶこの生
 徒からひろんな」ことを教はつておたごあらう」（あとがき）と回想し
 てゐる。そのニ高時代から入營中の日記等を収めた『わがいのち月明
 に燃ゆ』一戦没学徒の手記』（昭和四十二年一月二十五日筑摩書房）
 がある。



わがいのち月明に燃ゆ 林尹夫
 の海軍戦没学徒
 の秘密日記！

林尹夫
 わがいのち
 月明に燃ゆ

一戦没学徒の手記

海軍戦没学徒がひそかに書き綴った秘密日記！
 戦い時代に生きてなげ表現を求めてやまなかつた一年の魂の告白。第十四期飛行予備學生として、送りこまれた日本軍の訓練を子細しつらまざまな制約のしりぞきながら書き綴られ、著者の戦死後長年知友の手で秘蔵されていた手記の全貌をここに公けにする。

筑摩書房 450円